



「働くことを軸とする 安心社会」の確立を めざします。

参議院議員

あいほらくみこ



今、マスコミは安倍政権の金融緩和や経済政策を評価していますが、本当に望ましい結果となるのでしょうか。もちろん、経済の好転を望む気持ちはみな同じで、そのための経済政策は必要です。しかし、株価高騰でどれだけの国民が利を得るのか、円安でどれだけの企業が利益を上げるのか、そして労働者にどれだけ配分されるのか、疑問を感じざるを得ません。今春闘も一部大企業では少しは良い回答を出しているようですが、圧倒的多数の非正規労働者には何らの恩恵もない回答です。加えて、この国を支える圧倒的多数の中小企業や生活者は円安による原材料の高騰やガソリン、灯油の値上がりで悲鳴を上げています。水産業界は重油の値上がりで休漁をし、政府に窮状を訴えている状況です。輸入飼料等の値上がりで今後の酪農業界への影響も懸念されます。

一方で私たちの力足らずで、地方公務員の賃金を引き下げる法案が成立したことにより、地方はますます冷え込むことになりかねません。そもそも、この法律は地方交付税法の本旨に反しているものです。そして交付税の総額確保とはいえ、給与切り下げの充当分は用途が決められ、その一部は地方債で賄うこととなっています。これは地方自治を無視した中央集権への逆戻りです。

期待感だけで、こぞって賞賛されている大型花火（アベノミクス）が、国民に大きな火の粉となって降りかかってくることを懸念します。そんな中で迎える参議院選挙です。民主党にとっては未だ厳しい状況ですが、大企業の経営側のみ目線を向けた政策や、憲法を改正して集团的自衛権を可能とし国防軍創設を目論んでいる安倍政権には、しっかりと「NO!」を突きつけなければなりません。約70年前、内外に多くの犠牲者を出した経験を持つ国だからこそ、「戦争をできる国」にしてはならないのです。

何としても民主党がもう一度しっかりと対峙できる政党として、この参議院選挙で勝ち抜かなくてはならないと、決意を新たにしているところです。



あいくみ、国会レポート

1月から始まった通常国会も残すところひと月半。
残された期間、最後まで精いっぱい頑張ります!

<http://aikumi.info>



1月17日、公営競技評議会単組代表者会議。公営競技の交付金制度の見直しは道半ば。引き続き、取り組まねば!



2月23日、臨時・非常勤等職員全国協議会総会。自治体職員の3人に1人を占める非正規職員の処遇改善を!



3月12日、国保労組協議会の皆さんの国会見学。その後、事務所にて皆さんから率直なご意見をいただきました。



1月26日、愛知県本部主催「あいちユニオンカレッジ」で、私の労働組合とのかわりから現在までを話しました。



2月26日、私が委員長を務める参議院内閣委員会の一コマです。この日は大臣所信に対する質疑を行いました。



3月30日、女性ネットワーク熊本学習会の県北と県南の会場へ。皆さんからいただいた「たすぎりー」に感謝です。



1月31日、後援会主催による「『あいはらくみこ』を支え、励ます集い」にご参集いただいた皆さんに感謝です。



3月5日、「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」の省庁交渉に出席。多文化共生社会をめざします。



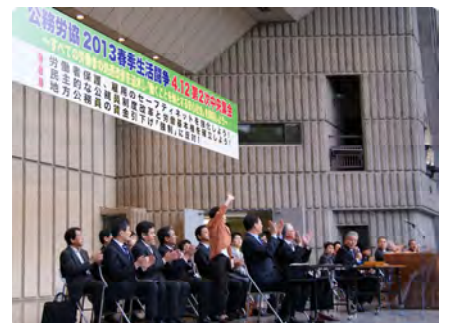
4月8日、福岡の仲間の皆さんのもとへ。「公共サービスを守るために頑張っ!」との激励をいただきました。



2月22日、全国町村職総決起集会「自治体業務・公共サービス水準向上のための人員確保等を求める請願行動」。



3月7-8日、「共生社会・地域活性化に関する調査会」委員派遣で福島第一原発事故による被害を受けた地域へ。



4月12日、「地方公務員賃金引下げ強制反対! 中央決起集会」「公務労協 2013春季生活闘争中央集会」にて。